

みやぎ地域復興支援助成事業「コミュニティで変わる新しい山元創生事業」
やまもと対話・学びの場づくり@ポラリス（第7回：最終回）

商品/ サービスのブランド作りを考える対話と学びの時間

～ミガキイチゴを参考にお客様に届けるストーリー作りを考える

□日時：2016年3月26日（土）10:00～13:30

□場所：ポラリス

□ファシリテーター：斉藤光弘さん（NPO法人GRA / 合同会社 あまね舎）

□講師：①岡内秀明さん（NPO法人GRA）

②武田千明さん（NPO法人GRA）

□参加者 16名

酪農家 チームひまわり会員（蕎麦栽培）

就農リーダー

ふらっと一ほくスタッフ

亘理山元まちおこし振興会会員

一般社団法人まなびの森スタッフ

ポラリスメンバー&スタッフ

一般社団法人ふらっと一ほくスタッフ

東北大学大学院 経営組織論研究者

山元産いちじくブランド製造販売

□内容

■武田千明さんのお話から

・「あなたのお客様は誰ですか？」：店のターゲットを明確に。 5W1H

・インターネットショッピングはますます伸びていく予想

・どうやって「誰」を決めていくか。・・・現場を研究し絞り込む。

① 属性（年齢・家族構成・職業・年収・居住地・学歴）

② 価値観（大切にしている考え）

③ 関心事（今抱えている悩みや課題 / 今叶えたい夢や願望）

・事例紹介

① スープストック東京

② エキュート

③ カルビージャガビー

④ ミガキイチゴ

・「価値」には「機能価値」「感性価値」の両方が必要

■岡内さんのお話から

・ストーリーの伝え方（ストーリーテリング）・・・ジャーナリストが一番初めに学ぶこと

・テレビ局は常に視聴率と戦っているが、それは実は「視聴質」なのである。

・「視聴質」とは、一人ひとりに届ける、テレビだけでなく、あらゆるメディアで伝える。

・「珠玉コメント」を。・・・客観的感性（リズムをつくって）

□勉強会の様子



代表のあいさつ



各自自己紹介。



対話の時間



様々な世代、業種、対場の人たちが語り合う場